

苫小牧PTAだより

No.127

今号の内容

学校・生徒の話題

今年度の進路状況

体験入学・見学旅行

部活動状況

苫工祭と夏季体育文化大会



所感

PTA会長・副会長から

「苦工創立」

100周年



PTA会長 首藤 孝治

皆様におかれましては、時下益々ご清祥のことと存じます。また、日頃よりPTA活動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

コロナウイルスの影響も約4年が経過し、2023年5月にはインフルエンザと同等の5類感染症に移行され、社会経済活動も上向いておりますが、さまざまな爪痕を残したのも事実であり、その影響からの回復は計り知れません。インフルエンザも爆発的に拡大す

るなど、まだまだ予断を許さない状態が続いております。皆様方におかれまして、十分にお気を付けいただければと思います。

お話は変わりますが、2023年4月に苦工は創立100周年を迎えました。1923年（大正12年）3

月に北海道庁立苫小牧工業学校の名称で創立し、1950年に北海道苫小牧工業高等学校に改称され、現在に至り、卒業生は約2万8,000人を数えます。苦工生におきましては、各界に幅広く活躍し、国内の主要産業を支え、日本経済の発展に大きく貢献しております。この度の100周年記念事業では、「創立100周年記念事業協賛会」を立ち上げ、各事業の実施項目を選定し、協賛会への募金目標額を定め、事業完遂に向けて、協賛会・田中稔会長（苦工同窓会会長）を主軸に奔走していただきまし

た。結果、募金目標額約3,600万円に對して、募金他総収入額は約6,700万円と目標額を大きく上まわり、苦工への熱烈な思いや、さらなる苦工の発展に向け、皆様方の善意を強く感じるとともに、この学校の偉大さを改めて認識いたしました。私も卒業生の1人といったしまして、苦工の歴史と伝統に誇りを感じている所存です。

記念事業の内容といたしまして、①100周年記念碑の健全②在校生各部活動への助成③体育館ステージ幕及び遮光カーテンの更新④室内練習場の改修など多岐に渡り、生徒の皆さんは、文武両道におきまして、存分に活躍される環境が整いました。PTA会長の私からも、改めて、記念事業に携わりいただきましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

さて、3年生はいよいよ大きな分岐点に立ち、就職する生徒、進学する生徒とともに人生の新たな門出を迎えます。さまざまな不安や夢や希望を持ち合わせ、さらなる成長に向けて大きく羽ばたこうとしております。何かあれば相談する、1人の意見よりも多数の意見、思い悩まず前向きに、といった考え方をモットーに頑張っていたいただき、校訓であります「質実剛健」胸にさらなる飛躍にご期待申し上げます。

自身も、平成十年に工業化学科を卒業しております。そしてこの度、次男も苦工にお世話になると言うことで、PTAとして何か役に立つことはないかな？との思いでPTA役員を引き受けることといたしました。

苦工祭PTA企画への参加は初めてのことで、何をどうしたらいいかわかりませんでしたが、まずは生徒達の学校生活が楽しくなれば良いと思います、さらに今年度からはコロナの規制も明け普段通りの生活ができると言うことで「生徒達も楽しみにしている学校祭をPTAとして盛り上げよう！」と思い、お手伝いさせていただきます。

「苦工祭PTA企画の感想と来年以降の抱負」



PTA副会長 貝澤 樹梨

新年度からPTA副会長になりました貝澤樹梨と申します。長男が土木3、次男が土木1におります。私

PTAは、冷たいうんと、いももちを作らせていただきました。いつもは流しそうめんだと聞いていましたが、感染症が無くなったわけではないので、今年

は個別に頼めるうどんにしました。いももちは、毎年人気商品とのことです。当日は天気も良く、朝オープンしてすぐに注文も入り多

忙でした(笑)

PTAのみなさんの大活躍により、初めてのうどんや久しぶりのいもち販売、とても順調でいもちも完売でした！子供たちや、家族の方、他校の生徒も集まり大好評でした！

今年度の学校祭は、PTAとしては大成功をおさめたと思います。学祭のお手伝いに参加してくださったPTAのみなさまには感謝をお伝えするとともに、ぜひ次回以降も参加し子供たちの喜ぶ姿と一緒に見られたらいいな思っておりますので、またよろしくお願いたします。

さらに、今後はPTAが学校の活動や方針に対して理解を深め、積極的に参加できるような環境を整備し、親たちが学校イベントやプロジェクトに参加しやすいよう、柔軟なスケジュールや(オンライン等)参加の機会を提供できるようになればとおもっております。また、保護者同士のネットワークや情報共有の場も整備し、コミュニティ全体の

結束を高まるよう、協力と調和の中で苫工全体を一層発展させ、生徒たちが豊かな教育環境で成長できるよう努めて行きますので、ぜひみなさまご協力よろしくお願致します。

今後はますます重要性を増す学校・保護者・教員の連携を深め、地域社会との連携を築き、地元企業や自治体と協力し学校の資源やプログラムを拡充することで、生徒たちがより幅広い経験を積む手助けとなれるようにより良い学習環境を構築することがPTAの役割だとおもっております。

オープンかつ透明なコミュニケーションを推進し、保護者の声を丁寧に聴き入れ、その要望や懸念に真摯に応えることが不可欠です。これにより、学校と保護者のパートナーシップを一層強化し、共に生徒たちの成長を支えていく意識を高めていきたいです。

るよう努めて行きますので、是非みなさまのご協力よろしくお願致します。

「その時々 最適な答え」



校長 諸橋 宏明

あんなに暑かった夏の苫小牧も、落ち葉が舞う季節を過ぎ初雪を迎えました。

登校してくる生徒の吐く息も白く、それでも大きな声で挨拶をし登下校してくれる元気な日常の姿こそが、苫工百年の歴史を紡いできたんだと、感慨もひとしおです。

さて、本号では、ある保護者の方からの相談を紹介します。「正直、だんだん子どものことをどうしてい

この間はこう言ったにぶれぶれだねなんて口答えされてしまつて…」

皆さんにも、こんな経験はありますでしょうか。私からは、このような話をさせていただきました。

まず、第一に完璧な判断は、そもそも不可能なんです。最も大切なことは、どう言つて聞かせたか以上に、保護者としてどう考えてその結論を出したかなのです。なぜなら、考えた筋道がはつきりしていれば、修正することが可能だからです。

状況が変わったり、理由が間違つていけば、結論を変えればいいだけなのです。

世の中では、ぶれないことが正しいように言われますが、ぶれないこと、そのものに価値はありません。野球のイチローさんが、ぶれていなくて素晴らしいのは、スポーツの話でルールが変わらない世界ではそうしたことには価値もあるのだと思います。

一度決めたことをやり続けることは、何も考えなくてもよく楽なのですが、行

動を変えていくことは結構辛いことです。だから、楽な方を選んでしまうのですが、正解ではなくその時々最適な答えを出していく、修正していくと考えると少し気が楽にならないでしょうか。

このように話をさせていたのですが、一つでも成果を得ることができるよう、行動し続けること、アップデイトし続けることは大変ではありますが、次

代を生きる子どもたちに、私たちはその術として伝えていかなければなりません。昔はよかつたと、思考と行動を止めることはもはやマ

イナスでしかありません。今年もPTA会長の首藤孝治様をはじめ、役員の皆様には様々な面でお力添えをいただき、ありがとうございます。

PTA研修会で行ったエスコンでは、元ファイターズの大塚豊さんから「教をこなすだけではない練習、自分は次にどんな行動を起こすべきか考える練習を」と、人生訓にも似た貴重なお話を伺つて来



令和
5年度の
進路状況

昨年度同時期より好調



進路指導部長 藤田 寛人

今年度本校における新規高卒者の求人状況は、11月22日現在（原稿締切日）で804件と例年以上に求人を含めたいことができた（令和3年度は612件、令和4年度は702件）。今年度も厳しさを増す社会情勢ではありますが、たくさんの方の企業様から本校生徒にお声掛けいただけていることを考えると、100周年を迎えた伝統ある本校に対する期待の大きさを改めて感じるところです。

表題の今年度（現3年生）の進路（希望）状況ですが、219名の卒業予定者のうち就職希望者は163名（職安斡旋企業希望者144名、縁故6名、公務員13名）、進学希望者は53名（四年制大学17名、専門学校36名）です。原稿を書いている11月22日現在の就

職内定者は140名（職安斡旋企業希望者144名）、公務員は未集計（可否未発表、未決定者多数）、進学は四年制大学が2名（希望者17名）、専門学校が26名（希望者36名）合格しています。9月16日から解禁された就職に関しては、1回目の選考試験で採用を見送られる生徒が激減し、過去5年の実績と比べ近年にないほど好調で、ほとんどの生徒が意中の企業から内定をいただけています。要因として①現3年生の就職試験に挑む姿勢がすばらしかったこと②求人企業の増加および募集人数が増加していること③高卒就職希望の減少、すなわちコロナ禍から高卒者全体の進学率が上昇していること、など要因として考えています。来年度以降もこのような状況になるとは限りませんが、求人多数いただけの保証はありません。ですから、就職希望者は万全の準備をしなければなりません。企業によって採用基準の相違はあると思いますが、「基本的な生活習慣が確立（欠席有無）されている」

と「コミュニケーション能力（面接重視）がある」は企業との面談の中で頻繁に聞く「採用にあたり重視する」キーワードです。会社を休まず遅れずに出社すること、仕事をする上で異世代間でも会話できることが社会人として最低限求められる大切なことです。意中の企業に内定をいただくためにも、以上の2点を意識して学校生活を送ってはいかがでしょうか。

次に進学ですが、多くの生徒は指定校制の推薦入試もしくは総合型選抜入試で受験します。推薦入試は各学校によって推薦の基準に違いがあり、総合型選抜入試は各校特色のある入試制度で多種多様化しているのでも早くからの準備が必要です。4月当初より学校見学・模擬授業の受講・面接・論文等による選考を基に可否を決定する学校もありますので、進学を希望する場合は事前に受験する各学校の選考内容を詳しく調べておく必要があります。また、入試方式だけではなく、入学を含めた在学中に必要な学費・生活費等を把握し、奨学金の利用等も含め家庭でよく話し合うことも必要となります。

普段の学習活動を通して基礎学力および学習評価を

向上させ、課外活動等（部活動、習い事、ボランティアなど）を献身的に行い、充実した高校生活を送るこ

とができれば、どのような社会情勢になろうと必ず良い結果は出るものだと考えます。今後も進路指導部、

各学科、学級担任と連携しながら一人一人の進路指導を行っていく所存です。

PTA
研修会
報告PTA研修会に
行ってきました！

PTA副会長 福原 ユミ

9月9日(土)、PTA研修会に参加し、今話題のエスコンフィールド北海道に行ってきました。

初めて訪れるという事もあって、出発を今か今かとワクワクしていました。



た。出発前、参加者の方がお菓子を配ってくれて嬉しかったです！出発する頃には雨が降り出し心配しましたが、無事到着！ゆつくり写真を・・・と思ったのですが、時間に余裕がなく足早に中に入り、楽しみにしていた元プロ野球選手の大塚豊さんの講演を聞きました。野球を始めたきっかけや、挫折したこと、それを乗り越えたこと、そしてプロ時代や、現在野球を習っている子どもたちにアドバイスをしたり、いろいろな形で野球に携わっていることを話してくださいました。時折、クイズを出してくれたり、とても楽しく貴重な時間を過ごせました。うちの子どもたちはバドミントンなので競技は違いますが、メンタル面やトレーニングのやりすぎの影響など、とても

勉強になりました。講演終了後、球場の方へ移動して自由時間です。お弁当タイムの前にお目当ての「いちご15ミルク」を購入!!甘すぎず、酸っぱすぎず、とても飲みやすかったです。混雑する前に買って良かったです！お弁当をおいしくいただいたあとは、おみやげを買いにお店を覗いて歩きましたが、どこも激混みで、購入をあきらめそうになりました。(笑)

そして、いよいよ野球観戦です。日本ハム×西武ライオンズのゲームです。残念ながら負けましたが、研修会に参加した方と一緒に選手への応援を歌ったり、点が入って歓喜したり楽しかったです。

PTA研修会の機会が無ければ体験出来なかったことが多く、参加してみても新たに友達ができたりと素敵な経験でした。来年も参加したいと思えます！ありがとうございます。

部活動状況

令和5年度下期

硬式野球部

【第76回秋季北海道高等学校野球大会室蘭支部予選】

2回戦 苫工 6-0 伊達開来

準決勝 苫工 5-6 鶴川 (延長10回)

ソフトテニス部

【北海道高校新人ソフトテニス選手権大会】

(9月16・17日 帯広)

◇ダブルス

菅原陸功 (建2)・三浦快斗 (機2) ベア 初戦敗退

西 健太 (情2)・高田大翔 (機1) ベア 初戦敗退

小野寺凛緒 (環1)・佐藤里羽 (環1) ベア 3回戦進出

◇シングルス

西 健太 (情2) 3回戦進出

小野寺凛緒 (環1) 3回戦進出

【令和5年度北海道高等学校新人戦ソフトテニス大会団体戦兼第49回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会室蘭支部予選】

(9月23・24日)

◇1次リーグ

苫工 3-0 苫小牧東

苫工 3-0 苫小牧西

◇2次リーグ

苫工 2-1 室工

苫工 3-0 室清水丘

◇優勝決定戦

苫工 2-1 苫小牧東

優勝 1月23・26日 全道大会 (札幌) へ

【令和5年度苫小牧地区高校秋季ソフトテニス大会】

(9月30日)

女子2位 小野寺凛緒 (環1)・佐藤里羽 (環1) ベア

男子3位 西 健太 (情2)・櫻田真生 (建2) ベア

男子3位 菅原陸功 (建2)・三浦快斗 (機2) ベア
【令和5年度 特別 国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会】
(8月10日)

渡邊哲平 (土3)・伊東洗明 (建3) ベア 2回戦進出

西健太 (情2)・矢野世琉 (環3) ベア 2回戦進出

斉藤凱音 (電3)・鶴川高生 ベア 3回戦進出

駒吉生・豊田蒼空 (建3) ベア 3回戦進出

陸上競技部

【第39回全道高校新人陸上競技大会室蘭支部予選会】

(8月26・27日)

◇5000m

1位 阿部 陽温 (電2) (31分12秒32)

◇5000m

3位 阿部 陽温 (電2) (23分19秒23)

◇4x400m

5位 高井恒紀 (情1)・石岡慶太 (電2)・熊谷悠 (土1)・川島旺大 (機1) (3分45秒94)

◇やり投げ

4位 秋永 青空 (電1) (29m42)

(以上全道大会進出)

◇4x100m

予選敗退 高井恒紀 (情1)・川島旺大 (機1)・熊谷悠 (土1)・千葉里久斗 (土1)

◇ハンマー投げ

4位 千葉里久斗 (土1) (21m63)

◇砲丸投

5位 千葉里久斗 (土1) (8m02)

【第39回北海道高等学校新人陸上競技大会】

(9月19・22日)

◇5000m

予選敗退 阿部 陽温 (電2)

◇5000m

14位 阿部 陽温 (電2) (29分07秒00)

◇4x400m

予選敗退 石岡慶太 (電2)・川島旺大 (機1)・熊谷悠 (土1)・千葉里久斗 (土1) (3分45秒16)

バドミントン部

【第60回苫小牧市長杯高校新人大会】

(9月17日)

◇2部 男子シングルス

3位 佐藤 透空 (土1)

2回戦敗退 郡司 駿也 (環1)

【第52回全国高等学校選抜バドミントン大会苫小牧地区予選会】

(11月23日)

◇男子ダブルス

2回戦敗退 佐藤 透空 (土1)・福原 竣 (情1)

◇男子シングルス

2回戦敗退 佐藤 透空 (土1)

2回戦敗退 福原 竣 (情1)

サッカー部

【高田宮杯JFA U-18サッカー2023北海道ブロックリーグ道南1部リーグ】

7位

第1節 苫工 0-0 函館大谷

第2節 苫工 3-0 函館ラサール

第3節 苫工 0-1 駒大苫小牧2nd

第4節 苫工 0-2 苫小牧中央

第5節 苫工 3-1 七飯

第6節 苫工 1-2 函大有斗

第7節 苫工 2-5 北海道大谷室蘭2nd

第8節 苫工 0-5 函館大谷

第9節 苫工 5-0 函館ラサール

第10節 苫工 0-3 駒大苫小牧2nd

第11節 苫工 0-1 苫小牧中央

第12節 苫工 2-2 七飯

第13節 苫工 0-2 函大有斗

第14節 苫工 1-8 北海道大谷室蘭2nd

【第8回苫小牧民報杯 U-18サッカーリーグ】

優勝

第1節 苫工 2-0 苫東

第2節 苫工 5-0 苫南

第3節 苫工 5-0 苫小牧中央

第4節 苫工 1-2 静内

第5節 苫工 2-0 苫高専

【令和5年度第102回全国高校サッカー選手権大会苫小牧地区予選大会】

◇Group B

苫工 4-0 静内

苫工 1-3 北海道栄

苫工 0-6 合同

◇代表決定戦

準優勝 苫工 1-2 苫中央

【令和5年度第12回苫小牧地区高校ユース(U-17)サッカー大会】

1回戦 苫工 4-0 苫高専

準決勝 苫工 1-2 苫小牧中央

◇順位決定戦

3位 苫工 3-1 道栄

剣道部

【令和5年度高体連道南ブロック秋季大会兼第43回北海道高等学校新人剣道大会道南ブロック予選会】

◇男子団体I部

3位

◇男子個人

1位 小林 秀成 (建2)

3位 木村 賢黎 (建2)

13位 鹿野 祥吾 (機1)



柔道部

【全国高等学校柔道選手権大会室蘭支部予選会】

男子団体（3人制）

準優勝

男子個人

60kg級

優勝

準優勝

佐々木春弥（機2）

高木 裕貴（電1）

バスケットボール部

【令和5年度第76回北海道高等学校バスケットボール選手権大会苫小牧地区予選会】

（9月23日～9月24日）

1回戦

苫工 92 - 42 苫高専

2回戦

苫工 50 - 85 中央

卓球部

【第21回ニッタク杯卓球選手権大会】（7月17日）

一般男子ダブルス（3回戦進出）

本間流綺（R4卒業生）・佐藤恭成（電3）

山越海璃（電3）・杉浦来琉（電3）

一般男子シングルス（5回戦進出）

佐藤 恭成（電3）

ベスト16

塩谷 楓芽（土2）

【令和5年度会長杯争奪苫小牧卓球選手権大会（ジュニアの部）】

（8月19日）

ジュニア男子シングルス（4回戦進出）

塩谷 楓芽（土2）

ベスト16

（全道出場権獲得）

（3回戦進出）

加藤 匠真（機1）

【令和5年度会長杯争奪苫小牧卓球選手権大会（一般の部）】

（8月27日）

男子ダブルス（3回戦進出）

ベスト16

塩谷楓芽（土2）・加藤匠真（機1）

混合ダブルス（2回戦進出）

ベスト16

小西優花（建1）・水谷克彦（電気科教員）

代表決定戦にて全道出場権獲得

男子シングルス（3回戦進出）

塩谷 楓芽（土2）

葛西 夢翔（電2）

加藤 匠真（機1）

塩谷 楓芽

代表決定戦にて全道出場権獲得

【令和5年度北海道卓球選手権大会（一般ジュニアの部）】

（10月7日～9日）

ジュニア男子シングルス

4回戦進出

塩谷 楓芽（土2）

混合ダブルス

2回戦進出

小西優花（建1）・水谷克彦（電気科教員）

一般男子シングルス

塩谷楓芽（土2） 初戦敗退

【令和5年度北海道高等学校選抜卓球大会室蘭支部予選会苫小牧ブロック予選】

（11月11日・12日）

男子学校対抗

準決勝 苫工 3 - 2 苫東

決勝 苫工 0 - 3 駒大苫小牧

男子ダブルス

6位 塩谷楓芽（土2）・加藤匠真（機1）

男子シングルス

準優勝 塩谷 楓芽（土2）

ベスト4 加藤 匠真（機1）

久松 煌明（建1）

ベスト8 池田 悠希（環1）

小西 優花（建1）

【令和5年度北海道高等学校選抜卓球大会室蘭支部代表決定戦】

（11月18日）

男子学校対抗

苫工 3 - 1 室蘭清水丘

苫工 1 - 3 伊達開来

ベスト4（全道大会出場権獲得）

男子ダブルス

塩谷楓芽（土2）・加藤匠真（機1） 初戦敗退

バレーボール部

【第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦苫小牧地区予選会】

（9月30日）

リーグ戦

優勝

第一試合

苫工 2 - 0 苫高専

第二試合

苫工 2 - 0 苫東

【第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦】

（11月15日～17日）

ベスト16

2回戦

苫工 2 - 1 室蘭清水丘

3回戦

苫工 0 - 2 北海

アイスホッケー部

【第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会】

（8月11日～16日） 苫小牧市

ベスト16

1回戦

苫工 9 - 6 東京都選抜

2回戦

苫工 1 - 8 北海道栄

【第38回NHK杯争奪高校アイスホッケー大会】

（9月21日～24日） 苫小牧市

3位

1回戦

苫工 15 - 0 北海

準決勝

苫工 1 - 8 駒大苫小牧

【第57回北海道高校アイスホッケー大会】

（10月2日～30日） 苫小牧市

6位

第1試合

苫工 0 - 11 駒大苫小牧

第2試合

苫工 0 - 8 北海

第3試合

苫工 4 - 6 苫小牧中央

第4試合

苫工 3 - 16 道栄

第5試合

苫工 2 - 7 苫小牧東



テニス部

【第47回室蘭支部高等学校秋季テニス大会】

(9月23・9日)

◇男子ダブルス

7位 藤田 岳(電2)・山下翔照(土2)

8位 小川晋平(電2)・木澤 蒼(電1)

7位 川成優晴(環2)・阿部聖一(電2)

◇女子シングルス

6位 星優 衣菜(電2)

◇男子団体(9月9日)

1回戦 苫工 対 苫小牧東○3-2

準決勝 苫工 対 海星学院×0-5

3位決定戦 苫工 対 苫南○3-2

代表決定戦 苫工 対 室蘭栄×1-3

ハンドボール部

【令和5年度室蘭支部秋季ハンドボール大会】

準決勝 苫工 38-25 苫小牧高専

決勝 苫工 27-25 静内

【令和5年度室蘭高等学校ハンドボール新人戦大会兼第63回北海道高等学校ハンドボール新人戦】

リーグ1試合目 苫工 15-0 苫小牧高専

リーグ2試合目 苫工 18-30 室蘭栄

リーグ3試合目 苫工 27-39 静内

写真部

【令和5年度苫小牧支部写真展・研究大会】

入選 島田 瑞希(環3)

佳作 藤田 結大(建3)

佳作 佐藤 悠太(土2)

佳作 加藤 凜(土1)

美術部

【令和5年度苫小牧支部美術展・研究大会】

奨励賞 大矢 頼(建1)

奨励賞 長澤 廉仁(建1)

奨励賞 高橋 愛里(建1)

以上3名

【第57回全道高文連美術展・研究大会】

出場

機械工作研究部

【第23回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会】

《溶接競技部門》 6月29日～30日

一般社団法人日本溶接協会北海道地区溶接技術検定委員会

2位 五十嵐 利玖(機3)

5位 岩井 星嗣(機3)

《自動車整備部門》 8月7日～8日

日本工学院北海道専門学校

3位 関崎 颯人(機3)

5位 小丸 佑貴(機1)

《旋盤作業部門》 8月18日～19日

北海道苫小牧工業高等学校

3位 大瀧 遼(機3)

【令和5年度北海道高等学校ロボット競技大会】

北海道札幌琴似興業高等学校

「すわんちゃん」第4位

【令和5年度ジャパンマイコンラリー北海道地区大会】

(令和5年11月26日)

◇Advanced Class

4位 松浦 陸斗(電1) (全国出場)

◇Basic Class

優勝 伊藤 澄海(土1) (全国出場)

4位 重吉 陸登(土1)

◇Camera Class

優勝 飯坂 璃音(電2) (全国出場)

◇団体

優勝

吹奏楽部

【第68回胆振地区吹奏楽コンクール】

◇C編成の部

銀賞

【第75回市民吹奏楽祭】

【第46回定期演奏会】

(11月3日)

(12月17日)



新聞局

【第67回全道高等学校新聞研究大会】

(10月4日～6日)

参加

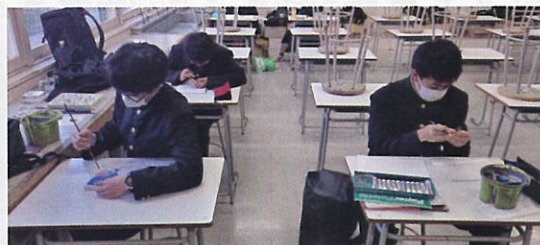
【2023年度全道高等学校新聞コンクール】

参加

土木研究同好会

【第23回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会】

◇測量部門 最優秀賞



ものづくり
全国第23回高校生ものづくり
コンテスト全国大会

化学分析部門

「全国大会を終えて」

環境化学科三年 藤井 勇旗

私は、十一月十一日と十二日に熊本県立熊本工業高校で開催された令和5年度第二十三回高校生ものづくりコンテスト全国大会の化学分析部門に出場しました。化学分析部門の課題は、



キレート滴定法により試料水中のカルシウム及びマグネシウムの定量を行い、試料水の各硬度を求め、測定結果報告書にまとめ提出することです。

昨年の北海道ブロック大会では、十六人中七位で、全国大会出場には遠く及びませんでした。そこでこの一年間、自然環境研究同好会の仲間とともに技術の向上と作業時間の短縮について、検討したり、練習をしたりしてきました。

この全国大会では、出場者十名のうち九位でしたが、全国大会のレベルの高さを実感し、とても良い経験となりました。そして、全国大会で学んだことを後輩に伝えたいと思いました。共に練習してくれた八巻君、小田桐君そして、指導してくださった篠塚先生、浅井先生にはとても感謝しています。ありがとうございました。

「全国大会までの一年」

環境化学科 北川 工

「おお！5番目に競技会場を出たか、タイムだけなら5位だ、勇旗！」十一月十一日金曜日、引率者の控室である実習室で、モニターから視線を外し、戻ってきた藤井君の勇ましい姿をみて私は、そう思いました。

遡ること一年前、藤井勇旗君は二年生の時に、本校代表三名のうちの一人として



て北海道ブロック大会に出場しました。結果は、十六名の参加者中七位でした。他の代表二名は入賞したにも関わらず、藤井君は入賞できませんでした。

きつと悔しかったことでしょう。同じように練習して、自分だけが入賞できない。自分だけが、賞状をもたない……。忘れない出来事だったでしょう。

その後の一年間、指導者である浅井先生、篠塚先生に教わり、練習と研究を重ねてきました。そして迎えた今年六月二十三日、旭川で開かれた北海道ブロック大会において、見事に最優秀賞を得ることが出来ました。

昨年同様に十六名の参加者があった中で的一位です。昨年の入賞すらできなかった藤井君は、ほぼミスがない藤井君に成長していました。

この全国大会は、ブロック大会で成長した藤井君が力を試す場となりました。大会初日である十一月十一日は、分析するための水を調製する作業を行い審査されました。緊張の面持ちで臨み、審査会場から出てきた藤井君の表情からは、疲労、後悔、安堵、不安など

複雑な心境が伝わってきました。

翌十二日は、制限時間二時間三十分の競技です。キレート滴定という分析は、いくつかの実験器具を使います。その使い方、作業のスピード、そして報告書の数値などが審査の対象です。

正しく、安全に、早く、正確に：書き連ねるのは簡単ですが、集中し続け作業をするのは容易なことではありません。

しかも、調べなければならぬ水が三つもあり制限時間もあるのです。ところが、藤井君は全ての作業を完了させ二時間余りで競技会場を出てきた場面が冒頭の場面です。時間勝負なら5位でしたが、成績は十人中九位の敢闘賞でした。

藤井君は、この全国大会で学んだこと、成長したこと



とを糧として、これからも成長し続けるでしょう。戦績はともあれ、「勇旗、よくやった！」と言いたい。最後になりましたが、藤井君を支えてくれた全ての人に感謝をし、結びとさせていただきます。本当にありがとうございました。

測量部門

土木科 坂野 弘幸

令和5年11月11日(土)～12日(日)にかけて、熊本県立熊本工業高等学校にて大会が開催されました。

今年度の北海道ブロック大会(測量部門)は本校を会場に行われたと同時に、学校も100周年を迎え、この節目の年に測量部門として、初めての全国大会の切符を手に入れました。

北海道ブロック大会では、測量の精度が悪く、上位入賞をあきらめていた選手たちでしたが、計算では全員がミスなしで仕上げることで、最優秀賞を獲得することができました。全国大会に向け、測量の精度を上げるため、放課後や休日の練習に励みました。

北海道ブロック大会が終わり、3ヶ月間は進路活動と重なり、全員が揃って練習する機会もなかなか持てず、チームとしてのまとまりがなくなっていました。

りがなくなっていました。10月後半からは進路活動も一段落し、気持ちを引き締め取り組んできました。

全国大会では、各地区から勝ち上がってきた学校ばかりなので高レベルな競い合いとなるのが予想されていきました。結果的には1位を獲得することは出来ませんでした。北海道ブロック大会で反省したことが、改善され誤差もなく、最上位の精度となりました。

今回の大会で、選手たちは北海道の代表として選ばれた自覚を持ち、多くの方々の御協力や御支援を受け、参加させていただけたことに感謝しています。3人1組で行う測量部門の難しさを改めて感じる事が出来ました。

終わりに、多くの経験や自分たちを見つめ直す機会を与えていただいたことに感謝します。多くの御支援、御声援をいただきありがとうございました。

全国大会に参加して

土木科3年 前川 道心

本校として測量部門初の全国大会出場であったので、大会本番はものすごく緊張しました。結果は7位でしたが、外業では速度と精度は最高のものを出せました。全国大会出場の機会を与えていただきありがとうございました。

土木科3年 工藤 海斗

私は今回の大会でとても貴重な経験をさせていただきました。緊張している中でも自分達の力を発揮できたことはとても良かったです。しかし、結果的には上位に届かず悔しい結果となっていました。この経験を生かして今後も頑張っていきたいと思っています。

土木科3年 中村 圭佑

去年の北海道ブロック大会で失敗したことに気を付けて今年の大会に挑みました。結果、優勝することができ、全国大会に出場しました。

土木科2年 村上 翔

今回行われた第23回全国ものづくりコンテスト測量部門では、自分の出る機会はありませんでしたが、先輩方のサポートをさせていただきました。先輩方が競技を行っている姿を見て自分も同じ舞台に立ちたいという思いが湧き上がり、来年の全国大会出場に向けて日々努力していこうと思いました。大会に出場した先輩方、そして、先生方ありがとうございました。



令和
5年度

中学生体験入学を終えて

10月20日(金)、午前と午後を合わせ、苫小牧市内はもちろん近隣市町や道外等の34校から、中学生319名、保護者111名、引率教員20名と、昨年度と同程度の参加をいただきました。本校の広い校舎の半分を占める実習棟に真剣な顔つきの中学生が溢れ、活気ある一日となりました。

昨年度好評だった本校の新しい体験入学を更にバージョンアップし、今年度は6科19実習を展開し、参加中学生それぞれが希望する2つの科での実習を体験しました。各科での時間は1時間弱と決して十分ではなかったかもしれませんが、中学生は楽しくも真剣に実習体験に参加し、実習設備見学及び学科説明に耳を傾け、中身の濃い3時間を過ごしてくれたことと思います。

保護者の皆さんと引率の先生方は、進路状況説明会と体験・施設見学に参加いただき、充実した時間を過ごされたのではないかと思います。

春本校を希望し入学してくれることに繋がることを願います。

今後更に工夫を続け、苦工の魅力と各科の特徴を発信し、中学生や保護者の

皆様にとってより良い機会となるように準備を進めて参りたいと思います。

最後に、休業日のなか、ボランティアとして中学生の体験を優しく丁寧にサポ

ートしてくれたすべての生徒たちに、この場を借りて感謝の気持ちを伝えます。

ありがとう。

土木科



土木科長 坂野 弘幸

土木科では、約120名の中学生に参加していただき、「ドローン」の見学・体験」「測量機器の使用体験」を行いました。天候が悪く測量機器の使用体験は室内となりましたが、どちらのテーマについても大変興味を持っていただきました。学科の説明においても進路の選択を迷っている中学生もいましたので、真剣な表情で話を聞いていました。

建築科



建築科長 横柳 淳

建築科では、昨年度から導入されたiMacで3D-CADを操作し、3年生の補助の下、住宅の間取りを考えて平面図を描き上げ、それを3D(立体)にする体験をしていただきました。また、学科説明では、北海道高校生建築デザインコンクールで最優秀賞を受賞した数々の作品や課題研究等で製作した木工作品も見学していただき、建築の学びの内容や楽しさを体感していただけたと思います。

電子機械科



電子機械科長 石橋 真治

日本の産業における機械の重要性について、プラスチックが形を変える様子を「3Dプリンタ」で、金属が削られていく様子を「手仕上げ」や「マシニングセンタ」で、さらに組立工程が必要とされる「溶接」を見ていただきました。また、「もの」を作るだけではなく、長く使うための保守・点検の代表として「自動車整備」の日常点検を体験してもらいました。これらの技術を身に付けることによる、「就職に強い電子機械科」をアピールしました。

電気科



電気科長 北村 繁典

電気科では、電気工事の体験と過去の3年生が「課題研究」の授業で作成した展示物の体験をしてもらいました。今年度は中学生への説明や電気科の紹介、作業の補助など、すべて有志で参加してくれた3年生主体で行いました。限られた時間でしたが、3年生指導のもと中学生は真剣に電気工事の作業に取り組んでいました。展示物のエアホッケーやストラックアウトなど笑顔で楽しんでくれたのが印象的でした。

環境化学科



環境化学科長 加藤 隆英

環境化学科の体験入学は、「プラントによる石鹸製造」「プラスチック(ナイロン)の製造」の化学製造系の2テーマと「中和滴定による食酢の濃度測定」「青い結晶の定性分析」の化学分析の2テーマを体験してもらいました。今年は、3年生全員が協力してくれたおかげで、実験の目的や楽しさだけでなく、学校生活の様子や進路先まで中学生に伝えてくれました。中学生の皆さんも化学の力が生活を支えていることに気づき、本学科に興味を持ってくれたことと思います。

情報技術科



情報技術科長 土橋 拓真

情報技術科では、まず科で学習する内容、取得する資格、過去の課題研究作品の説明の後、ラジオの製作、LANケーブルの製作、Pythonによるプログラミング、ロボットアームの制御の4テーマに分かれ、実際に入学後に実習で行っている内容を中学生に体験してもらいました。3年生が授業のサポートを行い、知識や技術だけではなく、様々な魅力を伝えられた様子でした。



令和5年
苫小牧
工祭

一般公開復活

「新時代に 向かって」

3年 土木科

生徒会長 中村 圭佑

「第54回苫工祭」は、新型コロナウイルスの影響でしばらくできなかった「一般公開」を復活させました。昨年は苫工祭前日に複数のクラスが学級閉鎖になり、2日間日程を1日に短縮するなど前代未聞のトラブルに見舞われました。まだ誰も「一般公開」を経験していない状況で、不安を抱えながらも、昨年の分も楽しんでもらえるようにイベントの企画・運営を行いました。

毎年恒例の企画である、「クラスステージ」や「仮装コンテスト」もダンス以外での新しい演目もあり、楽しめました。「クラスCM」「クラスフラッグ」「科章パネル」「垂れ幕」「ステンドグラス」も、レベルの高い作品が多かったです。

また、「学科展示」も、小さい子どもから高齢者の方まで楽しんでもらえる企画や物品販売などで、一般客の方々にも楽しんでいただけたと思います。

コロナ禍から通常に戻すというところで、見直した企画もあります。コロナ禍での飲食販売は、その場での調理を禁止し、調理済みの食品の販売のみにしてきましたが、今年は元に戻して、

「第54回苫工祭」は、新型コロナウイルスの影響でしばらくできなかった「一般公開」を復活させました。昨年は苫工祭前日に複数のクラスが学級閉鎖になり、2日間日程を1日に短縮するなど前代未聞のトラブルに見舞われました。まだ誰も「一般公開」を経験していない状況で、不安を抱えながらも、昨年の分も楽しんでもらえるようにイベントの企画・運営を行いました。

「クラスステージ」や「仮装コンテスト」もダンス以外での新しい演目もあり、楽しめました。「クラスCM」「クラスフラッグ」「科章パネル」「垂れ幕」「ステンドグラス」も、レベルの高い作品が多かったです。

また、「学科展示」も、小さい子どもから高齢者の方まで楽しんでもらえる企画や物品販売などで、一般客の方々にも楽しんでいただけたと思います。

コロナ禍から通常に戻すというところで、見直した企画もあります。コロナ禍での飲食販売は、その場での調理を禁止し、調理済みの食品の販売のみにしてきましたが、今年は元に戻して、

第54回苫工祭審査結果

総合順位

- 第1位 3年 情報技術科
- 第2位 3年 電子機械科
- 第2位 2年 電気科
- 第2位 1年 建築科

企画部門1位

- 1年 科章パネル
- 1年 土木科
- 2年 垂れ幕
- 2年 電気科
- 3年 ステンドグラス
- 3年 情報技術科
- クラスCM
- 3年 電子機械科
- クラスフラッグ
- 1年 建築科
- 仮装コンテスト
- 3年 情報技術科
- クラスステージ
- 2年 建築科



調理しながらの販売を実施しました。校舎外だけではなく、教室も飲食会場にし、散らせました。メニューはポテトフライ、焼き鳥、肉巻きおにぎり、かき氷、たこ焼きなどで、PTAでは、いももちや冷やしうどんを販売しました。どの店舗も大盛況で、売り上げ金の合計は16万円近くになりました。この売り上げは、生徒会ボランティア活動の一環

である寄付や寄贈に充てる予定で現在準備中です。新しい試みも行いました。その一つが、「eスポーツ」です。「マリオカート」と「スマッシュブラザーズ」の参加者を事前に募り、トーナメント方式で対戦し勝者を決めました。格技場を会場に実施しましたが、観客の大きな声援で大盛り上がりイベントとなりました。今後も継続したいと考えています。

毎年私たち生徒会は、疲労がピークに達した状態で苫工祭当日を迎えます。屋上に「垂れ幕」を設置後、強風により破れてしまうなどのアクシデントに見舞われながらも、苫工祭前日の放課後ギリギリまで修復を行い、万全な状態で準備を終えました。このように皆さんの苦勞や困難がありました。あきらめず最後までやり通すことの大切さを感じることができました。

最後に新執行部の皆さんへ。これからたくさん行事を運営していくと思いますが、チームワークを大切に励ましあい、「新時代」に向けて、どんどん新しい事にチャレンジしていただきたいと思います。

令和5年度
見学旅行

見学旅行を終えて

「見学旅行を終えて」



2学年主任 齋藤 好一

無事4泊5日の見学旅行が終了し、振り返った時、この見学旅行は、生徒たちにとって一生の思い出となったのではないかと思います。私としても、生徒たちが様々な経験を積むことができたことを喜ばしく思っています。

まず、この旅行では地域の歴史・文化の学習が深められました。奈良公園や金閣寺・清水寺などを訪れ、現地のガイドさんからの詳しい解説にもしっかりと耳を傾けていました。

特に伊勢神宮では、天照大御神など事前学習をして

いましたが、壮大で厳肅な空間に生徒たちも厳かな気配を感じ、真剣に二拝二拍手一拝を行っていました。生徒たちが教科書だけでは学ぶことのできない実体験を得ることができました。

また、生活面でも成長を感じました。滞在先のホテルでは、自分たちで片付けや掃除などを行う機会がありました。決められたルール・スケジュールのもと、初めは戸惑うこともあったようですが、班長の指示の元に徐々に協力しながら解決する姿勢が日を経つにつれて、強く感じられる様になりました。

京都・大阪での自主研修では、自分たちで、意見を出し合い考え抜いた計画書に従って、他地域での文化や生活に触れることが出来ました。USJでは、ハロウィーンと重なり多くの来場者で大混雑でしたが、時間ぎりぎりまで楽しんでいた

ようです。クラスの友人との交流も深まり、お互いに思いやりを持って過ごしていたように見えました。

そして、生徒は改めて「感謝」の気持ちを大切にするのが出来たのではないかと思います。私が特に印象的だったのは、観光名所やUSJで両手いっぱいにお土産を抱えた生徒たちの姿です。沢山の人の思いながら、お土産を選んだのではないのでしょうか。これから「ありがとう」という気持ちを大切に過ごしてほしいと思います。

この見学旅行は、生徒たちの成長や自己発見にとって大きな一歩となりました。事故なく無事に旅行を終えることが出来たのも、集団の中で役割を自覚して、お互いに協力し行動することが出来たからだと思っています。私自身も、生徒たちと共に過ごし貴重な時間を過ごすことができました。今後も生徒たちがこれらの経験を生かし、より一層成長していくことを願っています。

日次	月日(曜)	行程	宿泊地
1	10/29 (日)	バス(ガイド乗) ANA 56(335席) ANA 25(335席) バス(ガイド乗) 苫小牧工業高校 → 新千歳空港 → 羽田空港 → 伊丹空港 → 奈良公園 → 京都(泊) 08:30 09:00/10:30 12:10/13:00 14:05/14:30 15:30-17:00 18:15 南大門〜大仏殿〜春日大社 専門ガイド各クラス1名	<京都> ヴィラージュ京都 〒604-0024 京都市左区南門外5-1-15 15F TEL075-812-7000 [1泊2食付]
2	10/30 (月)	バス(ガイド乗) 京都 → 金閣寺 → 清水寺 【京都：グループ別研修】 京都(泊) 08:20 08:45/09:30 10:00 団体研修後〜舞台で解散 19:00〜20:00	<京都> ヴィラージュ京都 〒604-0024 京都市左区南門外5-1-15 15F TEL075-812-7000 [1泊2食付]
3	10/31 (火)	バス(ガイド乗) 京都 → 【ユニバーサル・スタジオ・ジャパン】 大阪(泊) 08:30 09:45〜 開園08:00 閉園22:00 19:30〜20:30	<USJ> ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 〒559-0024 大阪府大阪市東淀川区1-112-2 TEL06-6460-0109 [1泊2食付]
4	11/01 (水)	バス(ガイド乗) 【伊勢神宮】 大阪 → 外宮 → 昼食 → 内宮 → おかげ横丁 → 鈴鹿サーキット → 08:00 11:00-11:30 11:45-12:30 12:40-13:40 13:40-14:30 15:50-17:00 16:15〜 レーシングコース貸切バス運行(解散後付) → 夕食(名古屋市内) → 名古屋(泊) 18:10 19:10 19:30	<名古屋> 名古屋クラウンホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄1-8-23 TEL052-233-1111 [1泊2食付]
5	11/02 (木)	バス(ガイド乗) 名古屋 → 名古屋城 → トヨタ産業技術記念館 → 昼食(名古屋市内) → リニア鉄道館 → 08:30 08:50-10:00 10:10-11:30 11:50-12:40 13:05-14:20 ※入場は09:00〜 15:00/16:55 ANA715(167席) 18:40/19:25 バス(ガイド乗) 20:00 → 中部国際空港 → 新千歳空港 → 苫小牧工業高校 15:00/16:55 JAL3117(165席) 18:35/19:25 20:00	

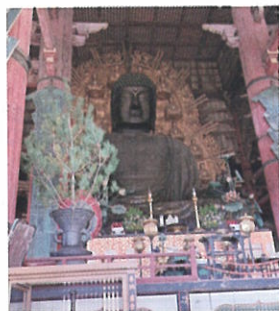
一日目から二日目清水寺まで

土木科 千葉 陸

奈良公園では、東大寺・興福寺・春日大社と国立博物館等が一体となった古都に相應しい雄大な自然と、北海道とは違う特徴を持つ鹿たちと触れ合うことが出来ました。

金閣寺では、透き通った空と山々に囲まれた迫力のある金閣寺と鏡湖池に映った光景が印象的でした。

清水寺も自然豊かで、京都ならではの土産屋さんも多くあり、都会らしい賑やかさも目立っていました。清水寺の舞台上から眺められる自然は絶景で心が浄化されたように思えました。



二日目 自主研修

建築科 小野 優那

私たち女子班は、自主研修で主に京都を中心に各地を巡りました。至る所に神社・寺があり北海道との違いを感じました。中でも清水寺は建物が大きく、景色も素晴らしいかったです。観光客の方もたくさんいて、とても賑わっていた印象があります。清水坂では食べ歩きをしました。京都の食べ物は何れも逸品で、特に抹茶が最高に美味しかったです。次に京都へ行く時は、もっと美味しいものを食べたいです。



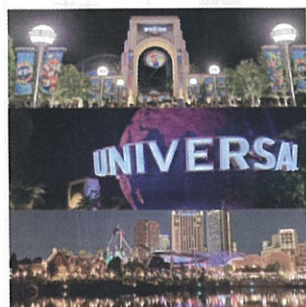
三日目

ユニバーサルスタジオジャパン

電子機械科 三浦 快斗

僕たちは10月31日にUSJへ行き、たくさんさんの経験や学習をして楽しめました。僕が最も印象に残ったアトラクションは、ジュラシックパークのフライングダイナソーです。それは椅子が下を向いているジェットコースターで、とても恐怖を感じましたが、それと同時に楽しかったです。

また、夜のUSJでは、一部区間でハロウィンのショーが行われており、お化けやゾンビなどがパーク内を徘徊していました。友人たちは驚きながらもとても楽しんでいて良い一日を過ごしました。



この一日を通して、友人たちとたくさんさんの思い出を作ることができてとても良かったです。



四日目 鈴鹿サーキット

環境化学科 田代 光希

十一月一日、伊勢神宮を見学した後に鈴鹿サーキットに行きました。四日目という日もあって、バス移動の際は、寝たり口数が少なかったりで、疲れている様子が見られました。サーキットに到着すると、天気は快晴で気温もちょうど良かったです。係員の方がバスに乗り込み、解説の中、コースを巡る体験をしました。最後にはコース上に降りて、地面に寝転んだら、記念撮影をしたりできました。人生で一度あるかどうかの貴重な体験ができて、生徒みんなが笑顔になりました。



五日目

名古屋城トヨタリニア

情報技術科 今尾 友哉

旅の疲れがピークの中、名古屋城と担任が毎日のように推していた「トヨタ産業技術記念館、リニア・鉄道館」を見学した。

名古屋城をリアルに見たこと、トヨタ自動車が紡織から始まったこと、JRで使われている電車等を下から見ることができたことなど、これからの私達にとって、勉強になることが一杯で、担任の「強力推し」である意味が最後に理解できました。それよりもクラス全員で無事に帰校できたのが、一番良かったのかもしれない。



夏季体育文化大会結果

クラス総合順位	科・学年
1 位	3年 電気科
2 位	2年 土木科
3 位	1年 建築科
3 位	1年 電子機械科



競技名	順位	1年	2年	3年
ソフトボール	1 位	建築	土木	電気
	2 位	機械	機械	環境
	3 位	土木	環境	情報
サッカー	1 位	機械	土木	環境
	2 位	土木	電気	電気
	3 位	環境	環境	情報
バスケットボール	1 位	情報	情報	機械
	2 位	電気	環境	建築
	3 位	機械、環境	建築、機械	環境、情報
バレーボール	1 位	建築	情報	電気
	2 位	電気	環境	機械
	3 位	環境、土木	建築、電気	建築、情報
ドッジボール	1 位	土木	土木	電気
	2 位	建築	建築	建築
	3 位	機械、情報	電気、情報	土木、環境
オセロ	1 位	土木	電気	電気
	2 位	機械	建築	土木
	3 位	電気、情報	機械、情報	機械、情報
将棋	1 位	機械	建築	機械
	2 位	建築	電気	土木
	3 位	電気、情報	土木、環境	電気、情報
長縄	1 位	建築	土木	建築
	2 位	環境	機械	電気
	3 位	土木	電気	情報
綱引き	1 位	2年 電子機械科		
	2 位	3年 建築科		
	3 位	3年環境化学科, 1年電子機械科		

女子競技順位	
総合1位	2年生連合、1年生A連合
女子バレー1位	1年生A連合
女子バドミントン1位	2年生連合



第39回 全校マラソン大会 上位者一覧

〈女子総合〉

順位	学科	氏名	記録
1	環境3	宮地璃乃	0:20:17
2	建築2	小川美紗	0:20:19
3	建築2	塚本結名	0:20:50
4	建築1	堂畑麗音	0:22:14
5	建築2	町中柚月	0:22:20
6	建築2	小野優那	0:23:24

〈女子ベストタイム〉

順位	学科	氏名	記録
1	環境3	宮地璃乃	0:18:03
2	建築2	小川美紗	0:18:55
3	建築2	塚本結名	0:19:40

〈男子ベストタイム〉

順位	学科	氏名	記録
1	情報3	京極 紘	0:17:37
2	建築2	五十嵐 氣	0:19:08
3	土木2	三木田 禾弥	0:19:14

〈3年男子〉

順位	学科	氏名	記録
1	情報3	京極 紘	0:18:26
2	建築3	山田裕介	0:20:15
3	電気3	三浦大輝	0:20:36
4	建築3	袖村琉希也	0:21:31
5	電気3	山本夏衣飛	0:22:08
6	土木3	中村圭佑	0:22:16
7	情報3	勇 翔衣	0:22:39
8	環境3	川成優晴	0:22:51
9	環境3	久米唯太	0:22:52
10	環境3	清水銀司	0:23:01
11	建築3	高橋龍之介	0:23:01
12	建築3	木村奏飛	0:23:38
13	建築3	秋原煌太	0:23:38
14	情報3	新井田琉麗	0:23:39
15	建築3	三浦諒大	0:23:44
16	土木3	田村音哉	0:23:52
17	電気3	河原雷電	0:24:02
18	建築3	中島太陽	0:24:05
19	情報3	小泉陽翔	0:24:15
20	建築3	加藤悠真	0:24:17

〈2年男子〉

順位	学科	氏名	記録
1	建築2	五十嵐 氣	0:19:44
2	電気2	鮎川竜之介	0:21:07
2	電気2	小川晋平	0:21:07
4	土木2	斉藤大将	0:21:25
5	土木2	及川遙斗	0:21:36
5	土木2	泉田豪生	0:21:36
7	電気2	小館正弥	0:21:51
8	土木2	本宮柚冬	0:21:52
9	建築2	山本悠真	0:22:12
10	建築2	吉田海斗	0:22:30
11	土木2	塩谷楓芽	0:22:51
12	土木2	三木田 禾弥	0:22:58
13	土木2	山下翔照	0:23:02
14	電気2	葛西夢翔	0:23:03
15	建築2	西村優空	0:23:08
16	情報2	田岸夢葉	0:23:25
17	情報2	畑端拓海	0:23:37
18	電気2	加藤涼駿	0:23:38
19	土木2	太田敦士	0:23:39
20	建築2	菅原陸功	0:23:41

〈1年男子〉

順位	学科	氏名	記録
1	建築1	佐藤泰成	0:21:30
2	建築1	小野煌介	0:21:53
3	建築1	鶴丸颯斗	0:22:00
4	建築1	大橋拓矢	0:22:08
5	土木1	名和康晴	0:22:17
6	機械1	渡邊蒼甫	0:22:25
7	機械1	落合海斗	0:22:49
8	電気1	松浦陸斗	0:23:05
9	電気1	伊勢龍翔	0:23:08
10	機械1	城畑有玖	0:23:21
11	電気1	平田壮志	0:23:28
12	機械1	佐藤大那	0:23:38
13	建築1	石川星七	0:24:03
14	建築1	酒井伽月	0:24:05
15	環境1	根本 翔	0:24:15
16	電気1	並松琉真	0:24:24
17	建築1	加賀屋清太郎	0:24:25
18	建築1	高桑 凜	0:24:29
19	機械1	柳谷勇仁	0:24:33
20	機械1	藤原 漣	0:24:40

苫工創立100周年記念事業一覧

- 百周年記念碑の建立
- 体育館ステージ幕及び遮光カーテンの更新
- 室内練習場の改修
- 危険防止防球ネットの設置
- 大型プリンターの整備
- 実習材料費の援助（生徒登下校用階段の修理）
- 花壇の清掃と塗装
- 記念会館の改修
- 百周年記念誌の制作（式典終了後完成）

先行事業として

- 室内練習場の人工芝の張替・ピッチングマシンの更新
- 在校生各部活動の助成

部活動名	品 名
硬式野球部	硬式野球試合球
テニス部	ストリングマシン
バドミントン部	ストリングマシン
サッカー部	チームユニフォーム一式
柔道部	柔道畳
バスケットボール部	デジタイマー・無線ユニット・ゲームベスト・作戦版
卓球部	卓球台・ボールガードネット・ラケット・ラバー各種
バレーボール部	バレーボールネット
アイスホッケー部	アイスホッケー練習着（白・黒）
スピードスケート部	エアロバイク
ハンドボール部	室内アルミハンドゴール式
機械工作部	マイコンカーコース（2種類）
コンピュータ部	ノートパソコン
吹奏楽部	クラリネット・マウスピース・リガチャー・キャップ各種
建築研究同好会	充電式インパクトドライバ・ベルトディスクサンダー
電気同好会	液晶プロジェクター・Ipad air・アップルペンシル



創立百周年記念式典

百周年記念事業として、協賛会からの寄贈、修繕、材料費援助など、多くの御支援をいただきました。大切に使用させていただきます。

令和五年十月十四日（土）午前十時から創立百周年記念式典が本校体育館を会場に挙行されました。

御来賓に、北海道教育委員会教育委員 川端 絵美 様をはじめ、千名近くの本校関係者及び招待者の皆様方に御臨席を賜り、肅々と式典を行うことができました。

生徒代表あいさつでは、前生徒会長の 中村圭佑さん（土木3年）が「私たち苫工生は、成長し続ける工業のプロフェッショナルとして、未来の日本の原動力となるため、先輩方の努力を継承し、伝統を守りつつ、真摯に努力を積み重ねていくことを誓う」と力強い言葉で結びました。

また、式典終了後、記念碑「希望の丘」の除幕式が本校正門前で行われました。

記念碑は、苫小牧在住の金属工芸家・彫刻家藤沢レオ様の作品で、デザインに本校生徒の意見を反映いただくなど、柔軟に対応してくれました。

この記念碑は、登下校の生徒や教職員はもとより、来校される皆様にも元気を与えて続けてくれるものと思います。



室内練習場の改修



完成した記念碑

